

「ゴミ」は宝物



新年度が始まりました。今年は例年になく桜の開花が早く、8日に行われた入園式には、敷地内の柳さくらが早や満開を迎え、隣のハクモクレンとのコントラストがとても美しいです。

昨年からたけの子では「ハーモニーの原則」に沿って年間の保育目標を立てています。今年は保護者会で出された意見を参考に、

「ゴミは宝物」

「こどもかいぎ」

の二つを大きく掲げていこうと思っています。

それに伴って、こどもたちの環境を整えることもこども達自身で行えるようにすること、こども同士も話しをもっとよく聞くことができるよう働きかけていこうと思います。

◇ゴミは宝物

そもそも、「ゴミ」ってなんでしょう。どこからがゴミで、どこからが宝物(資源)なのでしょう。

そのモノ自体は変わらないのに、わたしたちの見方が変わることで、それは、「ゴミ」にもなり、「宝物」にもなるようです。

それって、人も同じだとわたしは思います。その人のことをどう見るのかで、その人の価値は変わってきます。その人は全く変わらないのに、子ども達を見ていると無限の可能性に満ちているなど感じます。でもそれを、今できないことにはばかり注目して、その子自身の価値を小さくしてしまっている時があります。

◇人の価値は星のかずだけ

インターシップに来てくれている学生さんと福島と米沢の往復の間、いろんな話しができた時がありました。

まだ将来何がしたいかわからないといえます。

「それもありませんじゃないかな。」とわたしは応えませんでした。

みんなが主役というけれど。

夢や目標を持つというけれど。

大きなものじゃなくちやいけな道理はなく。

サポートが得意な人だっているわけで。

障害を持つてる人だっているわけで。

それぞれがそれぞれの人生を、喜びを持って生きられればそれでいいのでは、と思うのです。

人は星だと思っています。

小さい星、大きい星。

色んな星が空にまたたいている。

でも、本当はそれは大きい星かもしれない。

遠くて小さく見えるだけかもしれない。

その人の価値はその星と同じだと思つのです。

だれも本当のその人を知らない。

色んな星が宇宙にはあるように、

わたし達ひとりひとりも、
たった一つの星なのです。

◇叱れるのは信頼関係がある時

そうは言っても、わたし、子ども達からは「こわい」と恐れられています。(笑)

わたしは、信頼関係が構築されてからしか、叱ることはできないと思っています。

だから、みんなのことを叱るのは、言っても大丈夫だなど思っているからです。言われたら「明日から行きたくない」とならないと思つから言えるのです。

みんなにとつては違つたらら、ごめんね。
でも、これだけは言えます。

みんなみんな大好きだよ。愛してるよって。

辺見妙子

